

## シンガポールはリアルシムシティ

第1期OB 柳川 政人

私が日本郵船株式会社のシンガポール駐在としてシンガポールに降り立ったのは2011年4月で、それから早3年半が過ぎ、丸4年を迎えようとしております。2015年はシンガポール独立50周年の節目の年です。その記念すべき年の独立記念日(8月9日)を、果たして私はシンガポールの地で祝福出来るのでしょうか。大学入学(1999年)以降、大学卒業(2003年)、転職(2007年)、転勤(2011年)とサッカーワールドカップの翌年は私にとって変化の年となっています。果たして2015年に「ワールドカップ翌年の男(自称)」のジnkスは果たして継続されるのか否か、今、私が最も興味を持つ事象です。

さて、今回は急速に発展する国シンガポールに約4年居住し、その発展振りを目の当たりにしてきた私の視点から4年前にシンガポールの地を踏んだ時と今日のシンガポールとを比較して変わったと思うことを書き連ねて行きたいと思えます。「ワールドカップ翌年の男(自称)」の行く先についてはまた別の機会に…。(笑)

この4年間で最も変化を感じるのは為替です。小生がシンガポールに着任した2011年当時の為替は1シンガポールドル65円でした。半年後には1ドル56円まで円高に振れ、振り向けば日本人観光客状態で多くの観光客が日本から訪れました。今日の為替は1ドル90円を超え、日本円換算すると全てが割高に感じます。唯一(?)のシンガポール土産のTWGの紅茶も新丸ビル、自由が丘、二子玉川のお店で買われた方が安いかも知れません。

次に変化を感じるのは、お店の入れ替わりです。1年ないしは2年の契約更新を期に撤退するケースが多く、オーチャード地区のショッピングモールではフロアの半分のお店が入れ替わった事象もありました。繁盛していたレストランや目玉となるブランドショップが閉店セールを催しているのを見ると、法外な賃料を吹っかけているのだろうと交渉の過程を想像してしまいます。そんな中、皆さんご存知のユニクロが出店ペースを加速させており、日本人のみならず、現地の人々にも大人気です。尚、年中常夏のシンガポールでも11月頃になるとヒートテックが店頭に並びます(笑)。

また、オーチャードなどの中心地から離れた西部エリアが整備されたこともあり、最近は多くのお店が西部にあるジュロン近郊に出店するケースも増えています。セントラルエリアの住居賃料高騰により郊外に新築コンドミニアムが乱立、これらのコンドミニアムに外国人が増えたことに伴い西部エリアの住環境が充実し始めました。日本人も西部エリアに居住地を徐々にシフトさせている傾向にあり、西部エリアに新規出店する日本食レストランも増えてきています。セントラルエリアよりも賃料が安いことから、出店リスクを軽減する出店計画なのでしょうね。

勿論、観光客向けの施設にも変化は有ります。シンガポールの玄関、チャンギ空港では更なるフライトの受け入れを考慮し、第4ターミナルの建設が着工すると共に第5ターミナル建設の計画もされています。驚くべきことは、これらのターミナル建設は近隣のゴルフ場敷地を国が取り上げて（シンガポールの土地は国の物なので、買い上げではない）建設が進められるのです。ゴルフ場など狭い国土のシンガポールには不要だと言われている様で、ゴルフ好きの私にとっては少し複雑です。

また、皆さんの良く知るマリーナベイサンズの裏にはガーデンバイザベイたる巨大な公園が昨年オープンしました。この用地の大半は数年前まで海でした。そうです、埋め立てて国土を増やしたのです。実は、シンガポールは世界最大の砂の輸入国で年間 3 百万トンの砂をカンボジアなどから輸入して、国土拡大に注力しております。（カンボジアは砂を輸出することで外貨獲得出来るので両国にとってメリットがある訳です。）その他にはシンガポールズー、ナイトサファリに続いてリバーサファリが 2013 年にオープンしました。中国からパンダも 2 頭 10 年契約で借り受けました。上野動物園のパンダとどちらが賃料高いのか気になるところです。



2014 年 10 月 14 日サッカー親善試合ブラジル対日本にて  
著者（左）と御子息（未来の和製ネイマール???)

冒頭でも述べましたが 2015 年シンガポールは独立 50 周年を迎えます。その記念式典は 2014 年

7 月に竣工した国立競技場で行われます。この「新」国立競技場は 6 万人収容可能な開閉式ドームスタジアムで、スタジアムそのものにクーラーも完備され、快適にイベントを楽しめます。シンガポールもこのスタジアムを売りにして、様々なイベントを誘致しており、2014 年 10 月にはサッカーシンガポール代表の強化試合を白紙にして、サッカーブラジル代表と我が日本代表の親善試合を誘致し、私も現地で観戦しました。（写真の為の無理矢理感、すみません…）

シンガポールは昔ファミコンで遊んだシムシティのリアル版を見ている様に感じます。資源が何も無い国ですが、企業、観光客、イベントを誘致し、更なる発展を遂げる国の姿を間近で見れたことは非常に良い経験でした。唯一の不安はゲームのシムシティではゲームオーバーの引き金となる様なイベントがあることです。昨今の景気悪化、資源価格下落の影響をシンガポールも受け、予想外の展開にならないと良いなあと思う今日この頃です。



（おまけ）本田選手とネイマール選手